

平成30年度 第1回市川市史編さん委員会

日 時:平成30年7月2日(月)
18時00分～20時00分
場 所:全日警ホール 2階 第3会議室

会議次第

議 題 1. 平成30年度の事業内容について
 2. 通史編について（専門部会報告）
 3. 市川市史全巻における統一事項について

報 告 1. 第3巻、第4巻の目次構成
 2. 各巻の調査の進捗について（1巻・2巻・5巻）

連絡事項

閉 会

配布資料

- 資料1 平成30年度の事業内容について
- 資料2 通史編専門部会検討内容について
- 資料3 市川市史全巻における統一事項について

回覧資料

- ・表紙案（第3巻、第4巻）
- ・本文レイアウト案（第3巻、第6巻）
- ・東見本

平成 30 年度の事業内容について

1. 市川市史各巻の刊行について

刊 行 計 画

○ 発行年

△ 調査報告書(資料集)等発行年

平成30.6現在

| 年度 | 75周年 | | | | 80周年 | | | | 85周年 | | | | |
|-------------------|-------------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------------|------------------------|-------------|--------------|
| | 2009 H21 | 2010 H22 | 2011 H23 | 2012 H24 | 2013 H25 | 2014 H26 | 2015 H27 | 2016 H28 | 2017 H29 | 2018 H30 | 2019 H31 | 2020 H32 | 2021 H33 |
| 歴史編 | 第1巻 「地形と環境」 | | | | | △ | | | | 調査 | 執筆・編集 | 編集・刊行 ○ | |
| | 第2巻 「ムラとマチ」 | | | | | | | ▲ | | 調査 | 調査 | 執筆・編集 | 編集・刊行 ○ |
| | 第3巻 「まつりごとの展開」 | | | ▲ | | ▲ | △ | | | 執筆・編集・ 刊行 ○ | | | |
| | 第4巻 「変貌する市川市域」 | | | | | | | | | 執筆・編集・ 刊行 ○ | | | |
| 民俗編 | 第5巻 「台地・町・海辺の暮らしと伝承」 | | | | | | | ▲ | | 調査・執筆 | △(民家) 執筆・編集・ 刊行○ | | |
| 自然編 | 第6巻 「都市化と生きもの」 | | | | | | ● | | | | | | |
| 通史編 | 第7巻 「通史編(仮称)」 | | | | | | | | | 調査 | 調査 | 執筆 | 執筆・編集 刊行○ |
| 写真図録「この街に生きる、暮らす」 | | | | | | | | | | | | | |
| 「市史研究いちかわ」 | | | | | | | | | | | | | |

<平成 30 年度>

- 第1巻、第2巻 : 調査
- 第3巻、第4巻 : 執筆、編集、刊行(10月、3月)
- 第5巻 : 調査、目次構成・執筆候補者の確定、執筆依頼
- 第7巻 : 構成内容・執筆者等の検討、調査

2. 付帯事業について

(1) 講演会の開催

「市川市史第3巻 刊行記念講演会(仮称)」

日にち:平成31年2月3日、4日あたりで検討中

会 場:全日警ホール(定員280名程度)

講 師:吉村編集委員、湯浅編集委員、村田編集委員(予定)

(2) 調査報告書類の刊行

『市史研究いちかわ』第10号

一般投稿原稿の締切:平成30年9月28日(金)

刊行:平成31年3月下旬

(3) 刊行物払出し状況(平成30年3月末現在)

| 刊行物名 | 制作部数 | 払出冊数 | 在庫数 |
|------------------|-------|-------|------|
| 「市史研究いちかわ」創刊号 | 1000部 | 763部 | 237部 |
| 「市史研究いちかわ」2号 | 1000部 | 660部 | 340部 |
| 「市史研究いちかわ」3号 | 1000部 | 667部 | 333部 |
| 「市史研究いちかわ」4号 | 1000部 | 579部 | 421部 |
| 「市史研究いちかわ」5号 | 1000部 | 626部 | 374部 |
| 「市史研究いちかわ」6号 | 1000部 | 608部 | 392部 |
| 「市史研究いちかわ」7号 | 1000部 | 686部 | 314部 |
| 「市史研究いちかわ」8号 | 1000部 | 557部 | 443部 |
| 「市史研究いちかわ」9号 | 800部 | 504部 | 296部 |
| 下総国戸籍(写真・釈文・解説編) | 1000部 | 784部 | 216部 |
| 下総国戸籍(遺跡編) | 1000部 | 566部 | 434部 |
| 市川のオビシヤとオビシヤ文書 | 1000部 | 454部 | 546部 |
| 幕末期の御用留 | 1000部 | 320部 | 680部 |
| この街に生きる、暮らす | 4500部 | 3664部 | 836部 |
| 自然編 都市化と生きもの | 1500部 | 760部 | 740部 |

(4) 刊行物の売払い方法について

文学ミュージアムにて銀行口座振込による売払い

(平成30年10月末より開始予定)

通史編専門部会検討内容について（報告）

＜検討過程＞

- (1) 第 1 回通史編専門部会
平成 29 年 10 月 13 日（金）
出席者：吉村委員、石川委員、村田委員、竹内委員、朽木委員、事務局
- (2) 第 1 回通史編ワーキンググループ
平成 30 年 1 月 12 日（金）
出席者：吉村委員、竹内委員、朽木委員、事務局
- (3) 第 2 回通史編ワーキンググループ
平成 30 年 3 月 16 日（金）
出席者：吉村委員、石川委員、朽木委員、事務局

＜方針＞

- (1) 民衆や市民の視点からの通史を目指す。
- (2) 本文と付録年表の構成を基本とするが、他の形式の可能性も検討していく。
- (3) 平成 30 年度から、年表作成のため近世・近現代の下作業を開始する。
- (4) 各時代により市川市域の在り方が異なるため、本文での叙述を工夫する。
- (5) 時代区分は、読者に配慮して中学校・高校の教科書に準拠する。
- (6) 本編では少ない市内の各地域の特色や、文化史的な記載を取り入れる。

＜編さん体制＞

- (1) 通史編の編さん体制は、巻担当者を吉村委員（正）、朽木委員（副）とする。
- (2) 各時代の執筆者はワーキンググループの編さん委員を含め 1～3 名とする。編さん委員は監修者として、章および全体の統一性を保つ。執筆者は、今後検討する。

＜構成＞

- (1) 通史と巻末に通史を読む際の補助的なレベルの年表とする。本文 400 頁に対しおおむね 10～20%を年表に充てる。
- (2) 各時代のページ割の目安（コラムを含む）は以下のとおりである。加えて、必要に応じて「文化・民俗」のコラムを割り振る。
原始社会：10% 古代：20% 中世：15% 近世：20%
近現代：30% 文化・民俗（コラム）：5%

市川市史全巻における統一事項について

(1) 表紙

- ・ 背表紙のライン
- ・ 書体
- ・ 表紙タイトルのデザイン

(2) 内容レイアウト

- ・ 章扉の内容

(3) 本文用紙 (報告)

- ・ 上質紙 70 kg